

額田地域の公共交通について

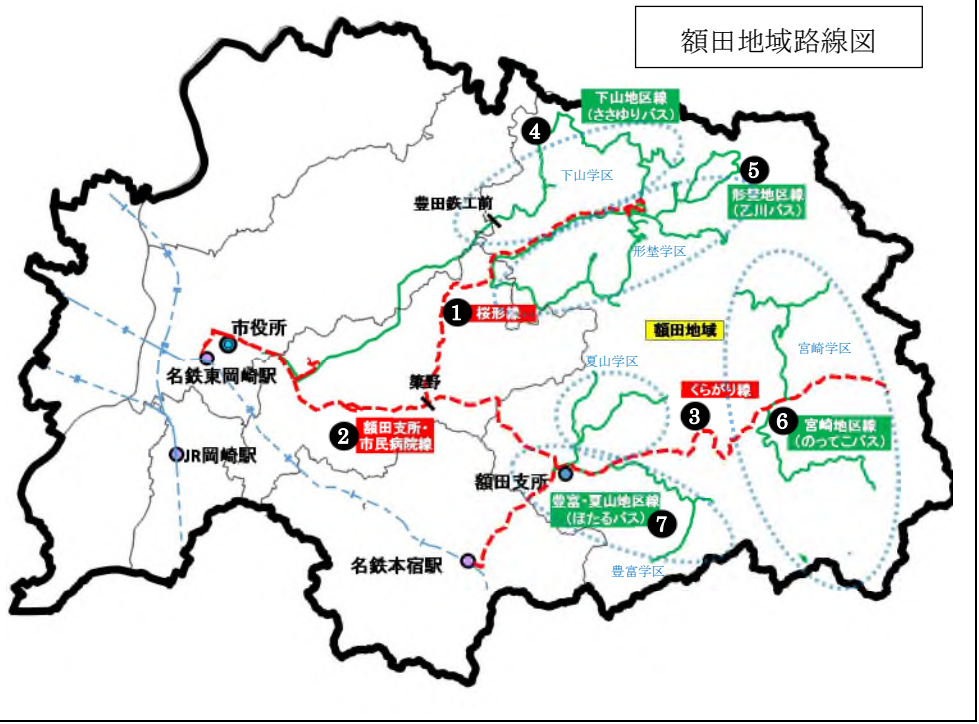
1 はじめに

額田地域では、幹線（地域間交通ネットワーク）として名鉄バス桜形線、くらがり線が、フィーダー路線として額田支所・市民病院線、岡崎市コミュニティ交通下山、形埜、宮崎、豊富・夏山地区線が運行しており、タクシーも含めて地域の移動を支えている。

地域交通に関して、交通政策会議をはじめとした各協議会において、十分に議論なされることが必要であり、交通事業者等と連携するとともに、地域が主体となって会議を開催し、当該地区の交通について協議を行っている。

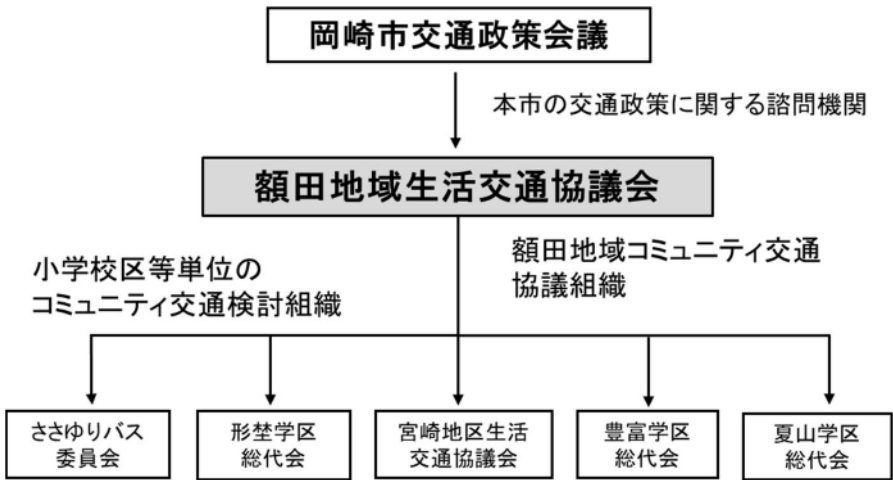
2 額田地域の概要

○令和4年4月時点

人口 学区別	7,581 人 豊富：4,046 人 夏山： 664 人 宮崎：1,072 人 形埜：1,207 人 下山： 592 人	
年少 人口割合 （15 歳未満）	9.30% （市：13.88%）	
高齢者 人口割合 （65 歳以上）	38.74% （市：24.01%）	
過疎地域等 指定状況	山村振興法	

3 検討協議会

地域における協議のため、地区主体の各地区協議会が5つ、額田地区全体として1つの協議会があり、運行内容の改善策や、地域に合った運行方法の検討等を進めている。



4 令和3年度利用実績について

- ・額田地域を運行する路線の1日あたり利用者数は約200人である。
- ・利用者数のうち額田エリア（※）を含めた運行に限定すると、約25%の利用となる。
- ・通勤・通学利用者数は1日あたり42.5人、額田エリア内での乗降者に限定すると、1日あたり6.2人となる。

※額田エリア：バスの運行頻度が比較的少なくなる額田センター、築野以東のエリアとする。

○令和3年度利用実績（カッコ内は路線全体実績）

		年間利用者数	1 運行日あたり 利用者数	1 運行日あたり 通学・通勤利用者数※ （額田⇄市街地）	運行便数／日	
					平日	休日
①	桜形線	2,816 人 (38,930 人)	7.7 人 (106.7 人)	0.7 人 (30.5 人)	8 便	8 便
②	額田支所・ 市民病院線	3,675 人 (4,709 人)	10.1 人 (12.9 人)	0.6 人 (0.6 人)	12 便	11 便
③	くらがり線	5,899 人 (16,740 人)	16.2 人 (45.9 人)	0.9 人 (7.4 人)	11 便 (19 便)	10 便 (18 便)
④※	下山地区線	2,676 人	11.1 人	4.0 人	8 便	－
⑤※	形埜地区線	426 人	8.7 人	－	4 便	－
⑥※	宮崎地区線	238 人	6.4 人	－	5 便	－
⑦※	豊富・夏山地区線	240 人	5.8 人	－	4 便	－
額田エリア乗降計 （路線計）		15,970 人 (63,959 人)	66.0 人 (197.5 人)	6.2 人 (42.5 人)	54 便 (62 便)	29 便 (37 便)

※名鉄バス路線（桜形線、額田支所・市民病院線・くらがり線）は年間利用者数から0D調査日（R3.7）の定期券利用者の割合より算出。下山地区線については朝夕便利用者。

※④～⑦の運行実績の詳細については別冊資料6参照。

5 今後のスケジュールについて

額田地域コミュニティ交通の運行は3年ごとの見直しを基本としており、現状の運行が令和5年9月までのため、次期運行に向けて検討を進める。

○次期運行計画検討スケジュールイメージ

		R4										R5									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
協議事項		運行計画（ルート、ダイヤ、車両等）											運行事業者（プロポーザル）							運輸局申請	
協議会	<会議予定> ○交通政策会議 ・ ◇額田地域生活交通協議会	◇ 4/14	○ 5/27		○				○	◇		◎ 協議	◇	◇	○			◎ 協議			
	各地区検討組織	適宜【ささゆりバス委員会、形埜学区総代会、宮崎地区生活交通協議会、豊富学区総代会、夏山学区総代会】 春：現状把握、夏秋：次期運行検討、冬：運行計画確定																			